



火曜喫茶店の活動が盛ん！

1月は新年会、つるし雑展、昭和展で皆さん楽しむ

大上地区社協が管理運営している深谷大上ふれあいの家では、毎週火曜日に「火曜喫茶店」を開き、誰でも“ぶらりと立ち寄ると誰かがいる”ところ。そして“おしゃべりいっぱい・笑いいっぱい”の場として地域の皆さんが大勢来店して楽しんでいます。

この火曜喫茶店は、役員の方月理事が店長に就いて月に1～2回は企画展も催し、皆さんが自由に集まって楽しんでいます。特に平成27年を迎えた1月には3回にわたって企画展が催されました。

ふれあいの家新年会＝1月13日(火)

午前10時30分に市ノ澤会長の“乾杯”から始まった新年会は、地区社協の役員や会員を始め地域の皆さんと共に北の台小学校から西木校長、鈴木教頭、町田総括教諭も順次来店される一方、地元選出の綱嶋議員も来店され、そして北の台小学校3年生の24名の児童から届いた絵手紙での年賀状や5区の関谷さんによる新春を祝う書の3幅も会場に展示されて新年会を盛り上げていました。

新年会は午後5時まで催され、地域の皆さん73名が都合よい時間帯に逐次来店してお互いに新年を祝っていました。来店した大上1区在住で91歳の男性は『地区社協の活動は、自治会の回覧板の社協ニュースを見て知っていましたが、今回初めて来ました。近くでこんなに皆さんが集まってなごやかで嬉々としている姿に接し、そして30年振りに再会できた方もおまして嬉しい限りです。これからは色々な催しに是非来たいと思います。』と語り、周りの人との会話を楽しんでいました。



なごやかなふれあいの家新年会



つるし雑の説明を聞く3年生の児童

布あそびとつるし雑展＝1月20日(火)

今年の「布あそびとつるし雑展」は1月20日に催され、講師で5区在住の浦谷かつ子さんの指導のもとでの大上在住の10名の皆さんの作品が展示されました。当日は地域の58名の皆さんと共に、今年も北の台小学校3年生全員の72名の児童もクラスごとに担任の先生に引率されて来店。児童達は、会場の天井から吊り下げられた19飾りのつるし雑について浦谷さんから説明を受け、そして質問するなど熱心に見学していました。



昭和初期の品も並ぶ昭和展

昭和展＝1月27日(火)

昭和の時代は、戦前・戦後を通して日本が大きく変貌し、そして経済復興と同時に高度経済成長した時代でもあります。このような激変した時代に使用された5つ玉ソロバン、バリカン、釜、炭を使ったアイロン、各種のカメラや8ミリ撮影機、桜田淳子や斎藤由貴などのアイドルカレンダー、当時の大上地区の地図や写真等々が展示された「昭和展」が、1月27日に催されました。

見学に来店された地域の53名の皆さんは懐かしそうに眺め、当時の思い出を語り合っていました。そして北の台小学校3年生全員は、今回も地域を知る授業の一環として担任の先生に引率されてクラスごとに来店し、当時の品々を熱心に見て、手にとって勉強していました。

今後の企画展の予定は、次の通りです。皆さんのご来店をお待ちしています。詳細は大上地区の掲示板をご覧ください。

・2月17日＝四国八十八カ所霊場巡礼展 ・3月3日＝ひなまつり ・3月17日＝リフォーム展